

- 問1 1192年に源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉幕府が本格的に始動した時期の出来事について述べた文として正しいものはどれですか。幕府が全国の荘園や公領に設置し、土地の管理や年貢の取り立てを行わせた役職名を含んだものを選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- 幕府は六波羅探題を設置し、西日本の荘園における年貢の徴収を直接指揮した。
 - 幕府は地頭を設置し、現地の土地管理や年貢の取り立て、治安維持を担わせた。
 - 幕府は侍所を設置し、全国の公領における土地の測量と年貢の割り当てを行った。
 - 幕府は守護を設置し、全国の荘園ごとに年貢の取り立てを細かく管理させた。
- 問2 鎌倉時代に成立した『平家物語』が、当時の人々、特に文字を十分に読むことができなかった庶民層にまで広く普及した背景には、どのような仕組みがありましたか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- 活版印刷の技術が導入され、安価な小型本が市場で大量に流通するようになったため。
 - 琵琶法師と呼ばれる僧侶たちが、琵琶の音色に合わせて物語を口承で伝えたため。
 - 寺子屋が普及し、子供たちが読み書きの練習用教材として書き写したため。
 - 鎌倉幕府が、武士の心得を教育するための教科書として全国の村々に配布したため。
- 問3 1232年に制定された「御成敗式目」について、この法典が制定された目的や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- 元の襲来に備えて、全国の御家人に幕府への忠誠を誓わせ、軍役の義務を強化するため。
 - 仏教の教えを広めることで、戦いに明け暮れる武士の道徳心を高め、治安を維持するため。
 - 承久の乱のあと、地頭と荘園領主の間で増えていた所領争いを、公平に裁くための基準を作るため。
 - 朝廷が持っていた裁判権をすべて奪い、武士が貴族を支配するための法的な根拠とするため。
- 問4 鎌倉時代に親鸞によって開かれた、阿弥陀如来の力を信じて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることで、誰でも極楽浄土に往生できると説いた仏教の宗派を選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
- 浄土宗
 - 時宗
 - 浄土真宗
 - 曹洞宗
- 問5 鎌倉時代末期に一遍（いっぺん）によって開かれ、太鼓や鐘をたたきながら念仏を唱えて踊る「踊念仏（おどりねんぶつ）」を通じて、農民などの民衆の間に急速に広まった宗派を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- 日蓮宗
 - 浄土真宗
 - 浄土宗
 - 時宗
- 問6 源頼朝が幕府の拠点として鎌倉を選んだ理由には、その独特な地形が関係しています。当時の鎌倉の地形的な特徴と利点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- 巨大な川の河口に位置しており、内陸部への水運を利用して大量の年貢米を集めるのに適していた。
 - 広大な平野が広がっており、大規模な騎馬軍団を訓練したり、農地を拡大したりするのに適していた。
 - 三方を山に囲まれ、南側に海に面しているため、敵からの攻撃を防ぎやすい要害の地であった。
 - 京都から続く平坦な道が整備されており、朝廷との連絡を迅速に行うことができる交通の要所であった。
- 問7 鎌倉時代に成立した新しい仏教の動向と、それに関連する文化的な出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- 道元が比叡山で浄土真宗を開き、念仏を唱えるだけで救われると説いた。
 - 親鸞が禅の教えを広めるために『喫茶養生記』を著し、薬草としての茶を推奨した。
 - 一遍が曹洞宗を広めるために全国を歩き、踊り念仏を始めた。
 - 栄西が中国から臨済宗を伝え、茶の栽培方法や喫茶の習慣を広めた。
- 問8 13世紀、モンゴル帝国のフビライ・ハンが中国に建てた王朝で、二度にわたって日本に侵攻してきた国の名称を何といいますか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- 高麗
 - 清
 - 明
 - 元
- 問9 鎌倉幕府が承久の乱の直後に京都へ六波羅探題を設置した主な目的として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- 朝廷の監視や京都の警備を行うため
 - 将軍の身辺警護や鎌倉の防衛を強化するため
 - 東北地方の武士を統括し奥州藤原氏を抑えるため
 - 蒙古の襲来に備えて九州沿岸の警備を強化するため
- 問10 13世紀後半の東アジア情勢と日本との関係について説明した文として、正しいものはどれですか。当時の中国大陆における王朝の交代と、その影響を正しく述べているものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- 南宋の皇帝がモンゴル帝国を退けたことで、日本と南宋の間の貿易は鎌倉時代末期まで安定して継続した。
 - フビライ＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、中国を統一したあと、日本へも服従を求めて2度の遠征を行った。
 - チンギス＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、日宋貿易をさらに拡大させるために日本へ使節を送った。
 - 元の皇帝は、足利義満との間で日明貿易（勘合貿易）を開始し、東アジアの海上秩序を安定させた。
- 問11 鎌倉時代、源頼朝によって各地の荘園や公領に配置された「地頭」の職務について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- 全国の土地の生産力を石高で表す検地を行い、耕作者である農民を検地帳に登録した。
 - 日明貿易において「勘合」と呼ばれる札を確認し、貿易の事務手続きや警備を担った。
 - 瀬戸内海の海上交通を支配下に置き、西日本を中心とした広大な知行国を管理した。
 - 土地の管理や軍事・警察権を行使するほか、年貢を徴収して領主や幕府に納めた。
- 問12 1185年、源頼朝は平氏を滅ぼした後に朝廷から許可を得て、国ごとに軍事・警察を担う役職を、荘園や公領ごとに年貢の徴収や管理を担う役職をそれぞれ設置しました。この二つの役職の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- 国司・郡司
 - 執権・連署
 - 検非違使・勘解由使
 - 守護・地頭
- 問13 日本の歴史区分における「中世」の政治的な特徴と、その期間の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- 明治維新によって天皇中心の政治が再建され、欧米の制度が導入された明治時代以降
 - 天皇や貴族による律令国家体制が確立された、奈良時代から平安時代まで
 - 織田信長や豊臣秀吉、徳川氏による全国統一が行われた、安土桃山時代から江戸時代まで
 - 武士が政治の主導権を握り、幕府が統治を行った、鎌倉時代から室町時代まで